

(案)

第六次国有林野施業実施計画書

(嶺北仁淀森林計画区)

計画期間 自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 11 年 3 月 31 日

四国森林管理局

目次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	1
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	3
	(6) 保育総量	3
3	特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	4
4	林道の整備に関する事項	8
5	治山に関する事項	11
6	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	12
	(1) 保護林の名称及び区域	12
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	13
7	樹木採取区の名称、所在地及び面積	14
8	レクリエーションの森の名称及び区域	15
9	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項	17
	(1) 森林共同施業団地の名称及び区域	17
	(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域	17
10	その他必要な事項	18
	(1) 施業指標林、試験地等	18
	(2) フィールドの提供等	20
	(3) その他	20

※ 本計画書内の集計表に関して共通する注釈
単位未満四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある。

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群		面積	取扱いの内容	伐期齢
施業群	スギ分散伐区	800	育成単層林施業 概ね5ha以下	45年
	ヒノキ分散伐区	1,171	〃 〃	50年
	スギ長伐期	1,603	〃 〃	90年
	ヒノキ長伐期	6,705	〃 〃	100年
	複層林	751	育成複層林施業	80年
	スギ長伐期複層林	439	〃	130年
	ヒノキ長伐期複層林	1,613	〃	100年
	その他複層林	55	〃 択伐	定めない
	択伐	4,454	天然生林施業	定めない
	ぼう芽分散伐区	192	育成単層林施業 概ね5ha以下	15年
施業群設定外		361		
合計		18,143		

注：施業群設定外は試験地等である。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群分類	上限伐採面積	備考
通常伐期施業	270	スギ分散伐区、ヒノキ分散伐区、ぼう芽分散伐区
長伐期施業	424	スギ長伐期、ヒノキ長伐期
複層林施業	289	複層林、スギ長伐期複層林、ヒノキ長伐期複層林
天然林・その他施業	定めない	その他複層林、択伐

注：契約に基づいて主伐を実施する分収林については、水源涵養機能の発揮に支障がない限り、箇所ごとの伐採面積の合計が上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主伐	間伐	小計	臨時 伐採量	計		
山地災害防止タイプ	—	14,824 (118)	14,824				
自然維持タイプ	—	—	—				
森林空間利用タイプ	—	—	—				
水 源 涵 養 タ イ プ	スギ分散伐区	76,651	—	76,651			
	ヒノキ分散伐区	140,840	—	140,840			
	スギ長伐期	—	103,774 (704)	103,774			
	ヒノキ長伐期	—	269,471 (1,868)	269,471			
	複層林	6,724	27,488 (195)	34,212			
	スギ長伐期 複層林	28,486	13,665 (92)	42,151			
	ヒノキ長伐期 複層林	14,972	69,502 (510)	84,474			
	その他複層林	—	—	—			
	択伐	146	1,369 (9)	1,515			
	ぼう芽分散伐区	3,560	—	3,560			
	施業群設定外	—	1,479 (9)	1,479			
	計	271,379	486,748 (3,387)	758,127			
合計	271,379	501,572 (3,505)	772,951	47,200	820,151	—	820,151
年平均	54,276	100,314 (701)	154,590	9,440	164,030	—	164,030

注：（ ）は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林地				林地以外	合計
	主伐	間伐	計	臨時伐採量		
本山町	14,158	77,127	91,285			
大豊町	48,611	43,708	92,319			
土佐町	34,251	59,421	93,672			
大川村	2,936	40,622	43,558			
いの町	116,706	193,994	310,700			
仁淀川町	54,717	86,700	141,417			
計	271,379	501,572	772,951			

注：臨時伐採量及び林地以外の土地の伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区分		山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ	快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ	合計
人工造林	単層林造成	—	—	—	—	290	290
	複層林造成	—	—	—	—	70	70
	計	—	—	—	—	360	360
天然更新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	13	13
	ぼう芽	—	—	—	—	17	17
	計	—	—	—	—	30	30
合計		—	—	—	—	390	390

(6) 保育総量

(単位：ha)

区分		山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ	快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ	合計
保育	下刈	118	—	—	—	828	946
	つる切	4	—	—	—	9	13
	除伐	14	—	—	—	118	132
	計	136	—	—	—	955	1,091

3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

(単位：ha)

所在（林小班）		面積
2	い1	4,796.23
4	い、ろ、に、ほ、へ、と、ち、り、り1、ぬ、わ、つ、ね1、ね2、 ね3、ね4	
5	い、ろ、は、ほ、と、ち	
8	い	
9	い、ろ	
10	い、ろ、は、に1、に2	
11	は	
12	に	
13	ろ、ほ	
14	ほ、へ	
15	い	
16	い、ち、る、わ	
18	ほ	
20	ろ、は、に	
23	い、ろ、は1、は2、は11、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、よ、た、れ	
24	は、ち、り、わ	
25	に、り	
27	い、ろ、に	
28	い、ろ、は、り	
29	ち、ぬ、る	
30	に3	
31	ほ、へ	
32	ほ、へ、と、ち	
33	る	
34	へ5	
35	い、に、ち、り	
37	い、に、ほ	
38	い、ほ	
39	に	
40	ほ、と、ぬ	
44	ほ、ち、る、た、れ、そ、つ、な、ら、む、う、の、お	
45	ろ、に、ほ、へ、と、ち、り	
46	い3、い5、に	

所在 (林小班)		面積
47	は10	
48	ろ2、ろ4、ろ6、ろ12	
49	い	
50	へ、と、よ、れ	
51	に	
52	は	
54	い、ろ、は、ほ、へ、り、る	
61	い、ろ、ほ	
62	い2、い3、い4、い5、い7、い8、い11、い12、ろ1、ろ2、ろ3、ろ4、ろ7、ろ8	
63	ろ、に1、に2、に5、に6、に7、に8、に9、に10、ほ1	
64	ろ1、ろ2、ろ3、ろ4、ろ5、ろ6、ろ7、ろ8、ろ9	
65	に、へ1、へ2、へ4、へ5、へ7、へ8、へ10	
66	り	
67	い1、ろ、に1、に2、に4、に6	
69	り、り1	
71	い	
73	に	
74	ろ	
75	は、よ	
76	ほ	
77	い1、い11、い12、い14、い16、い17、り1、わ	
78	か	
79	い1、い12、い13、い14、ろ1、は、に、ほ、よ1、よ2、よ3、よ4、た	
80	い1、ろ21、は、に、り1、り3、り4、る1、る3、る5、る6	
81	ろ1、ろ2、ろ3、は	
82	い1、い3、い14、へ、り1、り2、り3、ぬ、る3	
83	ろ、は、ち、り、わ	
87	ろ	
90	と	
91	に1、に11、に12、ほ、ら1	
92	は、に	
95	い、い1、い2	
110	へ	
111	い1、い2、い3、へ1、へ2、へ3、へ5	

所在 (林小班)		面積
114	い	
115	い、ろ2、は1、に1、に3、わ1、た2、れ3、れ4、そ1、そ2、む、 う	
116	い、ろ	
117	ほ1、ほ2、ほ7、と、ち、り、ぬ、る、た1、た2	
206	り1、り2、ぬ2	
212	い	
214	は、り1、り2、り3、り4、よ1	
216	と1	
220	い2、い5、か、な2	
221	い	
222	に	
227	は	
228	ろ、は1、は11、は12	
229	ぬ2、る4、る5	
230	は、ほ2、り6、り8、り10、る3、る4	
231	い、ろ、ほ	
232	ほ	
233	い5、は、り、つ1、つ2	
237	い11、い12、い13、い14、ろ	
239	と、り	
240	ろ1、ほ	
241	は	
242	は	
245	ろ2	
246	ろ	
247	い	
248	ろ	
255	は、る	
256	い、ろ、は、と、ね、こ	
257	は、へ、と、る3、よ、た、れ1、れ3、そ1、そ2、そ3、な	
259	に1、ほ、へ、や	
260	い1、い2、ほ	
261	い2、い3	
264	い、は1、は2、は3、と1、と2、と3、わ、わ11、わ12、ふ、え1、 え2、え3、え4	

所在 (林小班)		面積
265	い2、い3、ぬ	
266	ろ1、ろ2、ろ3、ろ6、は1、は2、へ、ち2、り、つ1	
267	に4、ほ1、ほ2、ほ11、ほ12、ほ13、ほ14、ほ15、ほ16、ほ17、ほ18、へ1、へ11、へ12、へ13、へ14、へ15、へ16、へ17、へ18、る2、か1、よ1	
268	ろ、は、に2、ほ、へ、と、ち、り、る、か1	
269	ろ、に1、に5、ほ、へ2、へ21、へ22、と21、ち、る、お、く1、く3、く4、や2、や3、け2	
270	に	
271	ろ、ろ1、は、に、ほ、へ、と4、と5、と6、ち、る、わ、か、よ、た	
272	ろ、は、に、ほ、り3、る、か、よ、た、た1、た2、つ、ね、の1、の2	
273	い、ろ、は、と	
274	い	
276	い1	
277	ほ2	
281	ろ1、ろ3、ろ5、に2、ほ1	
283	ち、り、ぬ、る、よ	
284	へ、ち、た	
286	ろ	
287	い1、い2、い3、は、に、の1、の2、の5、の6	
289	と	
290	に、に1、ち1、り1	
291	い、ろ、に	
292	に、へ	

4 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長	備 考
その他	開設	休場谷 255	255、256	1,200	
		名野谷 225	231	600	
		その他計	2箇所	1,800	
開 設 計			2箇所	1,800	
基幹	改良	仁尾ヶ内	44～49	300	
		小檜曾	62～65、117	300	
		桑ノ川	4～6	300	
		桑ノ川 4	2、4～6、116	100	
		桑ノ川 6	5、6	100	
		奥白髪	23、24、26～28	800	
		竜王	27、30～33	400	
		坂瀬	16、18～20、38	150	
		南川	77、79	300	
		一の谷	74～77、79	400	
		中の川	95	50	
		奥大野	271	150	
		奥大野支線	271、272	150	
		奥南川	268～274	3,000	
		奥南川支線	266、267	200	
		手箱	257～259、269	200	
		休場谷	255、256、267	200	
		伊留谷	257、258	400	
		名の川山	262～264	150	
自念子	242、243、246～248	300			
長沢山	236～240	200			

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長	備 考
基幹	改良	竹の川	239～241	200	
		上瀬戸	214～216	100	
		葛籠谷	232、234、235	200	
		根須木	229、230	100	
		脇の山	114、115、220	300	
		椿山	279～281	300	
		椿山 82	281～284	300	
		弘沢	272、291、292	600	
		安居	283～285	300	
		安居 90	286、290	100	
		基幹計	31 箇所	10,650	
		その他	改良	仁尾ヶ内	44、45
地吉山	69			200	
尾生山	54			200	
桑ノ川	6、8～10			300	
桑ノ川 6	6、10			150	
桑ノ川 12	12、13			150	
桑ノ川 14	14			100	
行川	39～43			300	
南川 81	80～83			200	
一の谷脇の山	80			50	
一の谷 79	77、79			100	
一の谷 82	79、80			200	
中の川黒森線	95			100	
芥川	86、87			100	
檜山	91、92			150	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長	備 考
その他	改良	石原	88、89	150	
		奥大野	271	200	
		奥南川支線	266～268	400	
		奥南川 66 支線	266	100	
		奥南川 69 支線	269	50	
		休場谷 255	255	50	
		白猪谷	250、254	50	
		八風呂	240～242	100	
		葛籠谷 31 支線	231、232	150	
		弘沢	272	450	
		松枝	233	50	
		名野谷	225、226	200	
		名野谷 225	225	200	
		椿山	281	100	
		露ヶ谷	275、276	100	
		若山	287、292	100	
		その他計	31 箇所	4,950	
改 良 計			62 箇所	15,600	
合 計			64 箇所	17,400	

5 治山に関する事項

位置 (林班)	区 分	工 種	計 画 量
2、4、6、7、8、10、11、13、18、19、20、 23、24、26、28、44、45、46、47、61、77、 78、79、80、91、92、110、111、115、205、 206、209、212、226、227、231、233、240、 248、249、255、257、258、259、264、266、 267、268、269、272、273、277、279、280、 281、283、284、288、289、291	保安林の整備	その他 (森林整備)	10,945.43ha
[2、4～10、116][11～20、35～38][21～28] [29～34][39～43][44～49][50～52][54] [61、62、117][63～68][77～85][110、111] [208～212][213～216][227～230] [232、234～239][233][240～243][244～249] [250～254][260～264][265～270] [271～274][279～282][283～290][291、292]	保全施設	溪間工	26箇所
[2、4～10、116][21～28][44～49] [61、62、117][63～68][205、206][213～216] [244～249][271～274][283～290]		山腹工	10箇所
合 計	保安林の整備	その他	10,945.43ha
	保全施設	溪間工	26箇所
		山腹工	10箇所
		計	27箇所

注1：林班[]の区分は、事業評価の地区単位。

注2：保全施設の計は、溪間工・山腹工で重複する箇所は1箇所として集計した。

注3：災害復旧等緊急を要する場合には、計画箇所以外においても実行可能。

6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	面積	位置 (林小班)	特徴等	備考
森林生態系保護地域	いしづちさんけい 石鎚山系	保存地区 80.27	263 ほ、イ 264 お、ハ1、ハ2	約 1,300mの標高差があり、温暖帯から亜寒帯までの林相の垂直分布を見ることが出来る。シコクシラベ、ダケカンバ、ブナ、ミズナラ、コハウチワカエデ、モミ、ツガ、ウラジロガシ等の多様な樹種とともに、希少な動植物種が生育・生息している。	
		保全利用地区 344.90	259 よ、イ、ロ 261 ほ、イ 262 は、に、イ、ロ 263 は、に、ち 264 か、よ、の、く、さ 270 る、イ 274 と、イ 290 れ、そ、へ、ト		
計	1箇所	425.17			
希少個体群保護林	しらがやま 白髪山天然 ヒノキ (遺伝資源)	208.54	22 は～と 24 に～と 39 は 40 は 43 ち	蛇紋岩からなる特殊な地質の上に成立している天然ヒノキの個体群を保護する。	
計	1箇所	208.54			
合計	2箇所	633.71			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：延長 km、面積 ha)

名称	延長	面積	位置 (林小班)	特徴等	備考
四国山地緑の回廊・石鎚山地区	49	5,510.02	3 全 4 よ2、そ、ら 5 い、ぬ、る、わ、よ、た、れ 6 全 8 い、ろ、に、ほ、へ [9・10・12・14・15]全 16 い、へ、と、ち、り、た、れ [17・18]全 19 ほ、と、わ、か、よ、た 20 ろ、へ、と 22 ろ 24 い、ろ、は、ち、り、ぬ、る、わ [27・28・30]全 32 い1～い3、い11、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち 34 い、ろ、は、に 35 る1 36 は、ほ、と 37 い、ろ、は、ほ、へ、と 38 い、ろ、は、に、ほ、へ、へ1 43 る [45・46]全 48 に 49 全 50 わ、か、れ 109 全 110 い、ろ、ろ1、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、る、わ、か、よ、た、れ1～れ3、そ、そ1、そ2、つ、ね、なら 111 い1、い3、ろ、に、ほ、へ1～へ5、と、ち、り、ぬ、わ、か1、か2、よ、た、れ、そ、つ1、つ2 112 い、ろ、ほ [205・206・207・208・209・210・211]全 212 に、ほ、イ1、イ2、ロ 213 ろ、は、に、へ、イ1、イ2、ロ 214 へ、る、わ、か、イ、ロ1、ロ2 248 と、り、ぬ、か、イ、ロ1～ロ3	四国の脊梁に位置する石鎚山系森林生態系保護地域から白髪山天然ヒノキ(遺伝資源)希少個体群保護林等の保護林を連結することにより、森林の連続性を確保し、森林生態系の一層の保護・保全を図り、野生動植物の相互交流に資するなど生物多様性確保の観点から、より広範で効率的な森林生態系の保護・保全を目的として設定。	

名称	延長	面積	位置 (林小班)	特徴等	備考
四国山地緑の回廊・石鎚山地区			249 へ、と、イ、ロ 250 ろ、は 1～は 5、に、ほ、へ、と、ち、り、イ、ロ [251・252・253]全 254 に、ほ、へ、と、ち、イ 1、イ 2、ロ 1、ロ 2、ハ 259 け 260 と 264 や、ゆ、イ、ロ		
四国山地緑の回廊・剣山地区	1	184.60	66 い、い 1、ろ、は、は 1、に 1、に 2、ほ、へ 1～へ 3、と、ち 68 全	四国の脊梁に位置する剣山を中心にして、東西及び南方面へ延びる国有林野において、西熊山生物群集保護林等の保護林を連結することにより、森林の連続性を確保し、森林生態系の一層の保護・保全を図り、野生動植物の相互交流に資するなど生物多様性確保の観点から、より広範で効果的な森林生態系の保護・保全を目的として設定。	
合計	50	5,694.62			

7 樹木採取区の名義、所在地及び面積
該当なし

8 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設の 概要	施 設 整 備	備考
自然 休 養 林	くいしやま 工石山	125.29	89 い～は、 と～ぬ	モミ、ツガ、 ブナなどの天然林とスギ、 ヒノキの人工林からなっており自然的、 人工的森林美を兼ね備えた 地域である。	育成 複層 林施 業	園地 (国、県) 歩道 (国)		自然 観 察 教 育 ゾ ー ン
			89 に、ほ、へ					天然 生林 施業
91 ろ								
かめがもり 瓶ヶ森	1,388.25	250 は1、は3、 は5、に	264 れ、つ4、な、 む、	石鎚連峰の中央部に位置し 冷温帯から亜寒帯までの植 生を有し、変化に富む森林 景観を示している。	育成 複層 林施 業	駐 車 場 (国) 避 難 小 屋 (県) (公共団体)		風景 ゾ ー ン
			264 や					天然 生林 施業
			264 た、そ、 つ1～つ3、 ね、ら、う、 こ、て					風 致 探 勝 ゾ ー ン
			264 ろ、は2、は4、 ほ～り					自然 観 察 教 育 ゾ ー ン
			251 い～に 252 い～ち 253 い～に、へ 254 ほ、へ、と 259 り、る、か、 よ、 け 260 へ、と 261 に、ほ、か 262 ろ～に、へ					風 景 ゾ ー ン

種類	名称	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設の 概要	施設 整備	備考
	かめがもり 瓶ヶ森		263 ろ～に、 ち～ぬ 264 か、よ、さ、き 270 ち～る、た 274 へ、と 290 れ、そ、ね		天然 生林 施業			風景 ゾー ン
253 ほ 254 ち 264 の、く、ゆ			雑地					
253 イ 1～イ 3 254 イ 1、イ 2、 ロ 1、ロ 2 264 イ、ロ					風景 ゾー ン			
250 イ、ロ 251 イ～ハ 252 イ～ハ 254 ハ 259 イ、ロ 261 イ 262 イ、ロ 270 イ 274 イ 290 へ、ト								
計	2箇所	1,513.54						
合計	2箇所	1,513.54						

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる私有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

(単位：ha)

名 称	対象地(林小班)		面積	協定の概要
いの町本川地域(戸中・葛原)の森林整備の推進に関する協定(葛原団地)	民	住友林業社有林	158.20	間伐 作業道開設等
	国	皆又谷山国有林 225 林班 名ノ谷山国有林 226 林班	271.32	
いの町本川地域(戸中・葛原)の森林整備の推進に関する協定(戸中団地)	民	住友林業社有林	66.65	間伐 作業道開設等
	国	松枝山国有林 233 林班 いの町本川公有林野等官行造林 2 林班	220.09	
大豊町立川地区の森林整備推進に関する協定	民	高知県県行造林	313.00	間伐 作業道開設等
	国	仁尾ヶ内山国有林 47～49 林班	289.72	
土佐町檜山地区の森林整備推進に関する協定	民	土佐村地藏寺生産森林組合	52.28	間伐 作業道開設等
	国	檜山国有林 91、92 林班	276.82	
合 計	民		590.13	4 箇所
	国		1,057.95	

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域
該当なし。

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：ha)

種類	名称	設定年	面積	位置 (林小班)	備考
施業 指標 林	天然更新による複層 林造成	平成6年	4.41	267に11内	複層林施業の推進を図る ための指標設定。
	帯状伐採による複層 林	平成6年	4.77	267～14内	〃
試験 地	低コスト人工造林	平成2年	5.57	92ろ	日照抑制等により、造林 作業のコスト低減を図 る。
	人工林の天然更新	平成5年	13.71	234い2	人工林における天然下種 更新の初期管理について 研究する。
	無除伐による森林造 成	平成18年	5.59	268ら3内	保育作業の省力化による 森林育成技術の確立。
	複層林 (群状、帯状)	平成8年	10.97	272は	複層林施業の確立。
	奥大野試験地 (強度間伐)	平成19年	5.00	271わ内	人工林における多様な間 伐方法と林分成長への影 響解明。
	保育作業の省力化	平成21年	5.30	233は内	保育作業の省力化による 森林育成技術の確立。
	集約化試験団地	令和2年	3.04	231ろ内	各種技術課題を1箇所に 集約し、検証作業の効率 化や、いつでも視察でき る「見える化した試験 地」として設定。
	奥南川山特定母樹品 種施業試験地	令和元年	0.64	274い内	スギ特定母樹品種を用い た下刈省略の可能性に関 する研究。
展示 林	奥白髪スギ人工林	大正7年	1.78	28ろ	国民への森林施業につい ての広報等に活用するた め設定。
	京組山秋田スギ	大正8年	2.85	260ほ	〃
遺伝 子保 存林	ヒノキ遺伝子保存林	昭和43年	2.40	13ほ	ヒノキの優良な遺伝子群 を確保・保存し、遺伝子 補給源として活用する。
			0.60	13へ	

種類	名称	設定年	面積	位置 (林小班)	備考
次代 検定 林	スギ次代検定林	昭和 49 年	1.89	271 ち	境差の比較的少ない箇所において各クローンを比較植栽し、定期的に生育・被害の状況等を記録し、その遺伝的特性と適応性を明らかにする。
		昭和 50 年	1.02	272 ね	
		昭和 51 年	1.57	271 か	
		昭和 60 年	1.34	33 い内	
		昭和 61 年	0.56	233 つ 1	
			0.28	233 つ 2	
	平成元年	1.19	257 つ		
	ヒノキ次代検定林	昭和 45 年	3.82	12 は 1.17 に 0.21 ほ 2.44	
		平成 4 年	1.30	287 い 3	
		平成 14 年	0.71	23 は 11	
スギ・ヒノキ次代検 定林	平成 21 年	0.90	272 た内		
		0.18	272 た 2 内		
モデ ル林	水土保全長期育成モ デル林	平成 12 年	2.85	260 ほ	公益的機能重視の森林施 業を PR するため、長伐 期施業及び複層林施業を 推進するモデル林として 設定。
	水土保全複層モデル 林	平成 12 年	288.94	267 は に 1～に 4 に 11～に 17 ほ 1、ほ 2 ほ 11～ほ 18 へ 1～へ 4 へ 11～へ 18 へ 31	

(2) フィールドの提供等

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
32 ろ、34 に、35 る 1、 36 ほ、37 は、38 へ 1	多様な活動の森 「高知県・本山町竜王山郷土 の森」	実施主体：本山町長 協定面積：75.08ha
80 は	遊々の森 「いなむら体験の森」	実施主体：土佐町長 協定面積：17.62ha

(3) その他

森林空間利用タイプのうち、レクリエーションの森等を除く区域の施業方法

(単位：ha)

位置（林小班）	面積	施業方法
294 い	5.13	育成単層林施業
80 い 42、ろ、ろ 4 226 は 2、は 21、は 22 232 い 17、い 18、は 11 260 ろ、は 2、ち 261 い 4、ろ 2、り 262 い 2 264 ぬ	113.19	育成複層林施業
80 い 4 89 る、わ、か 232 い 19、は 1 250 い 259 ち、ぬ、わ、た 260 る 261 は、ぬ、る、わ 264 に、る、あ 1～あ 3 293 に 294 ろ、わ	198.59	天然生林施業

注：レクリエーションの森等とは、レクリエーションの森、ふれあいの森等協定の森林、施業指標林、試験地等のことである。